

中期経営計画

新たなマテリアリティ(重要課題)特定

■ マテリアリティの見直し、再特定の背景

ノーリツグループでは、多様化するステークホルダーからの要請や期待をふまえ、2015年に当社グループの企業活動が社会に与え得る影響を認識・整理し特定したマテリアリティを経営課題に加えしました。

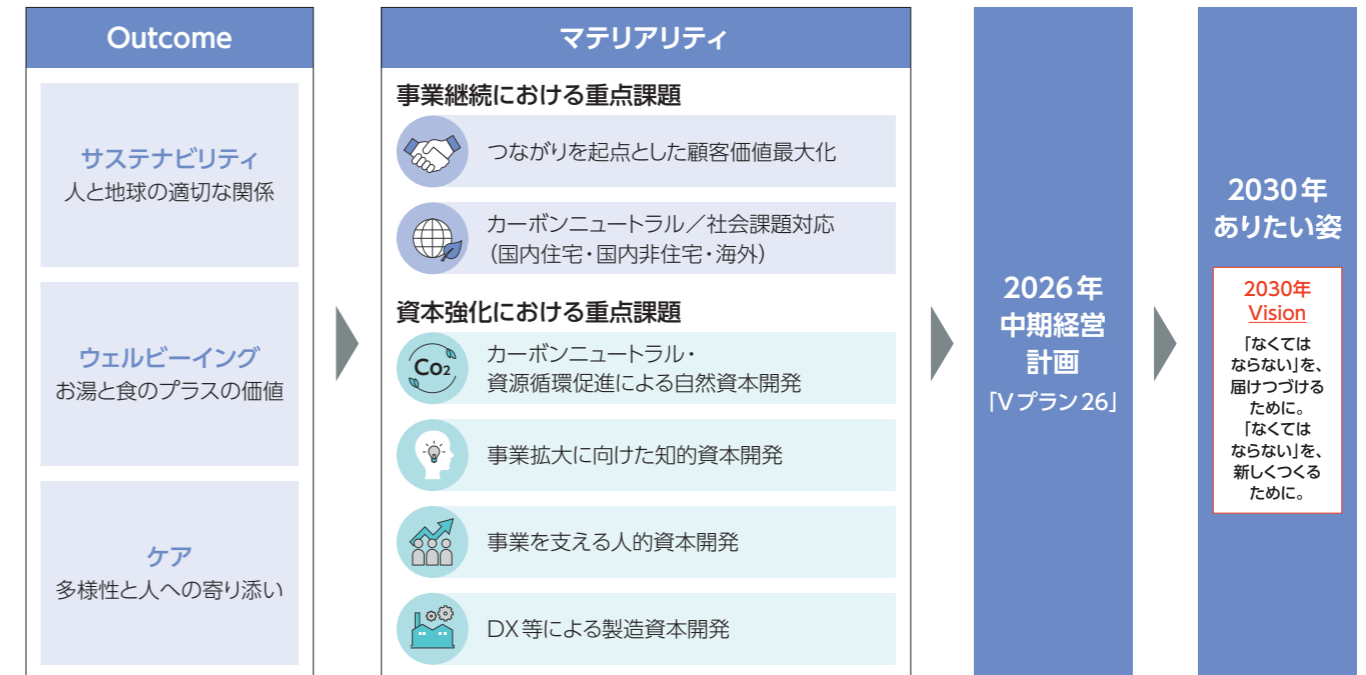
2020年には、2030年に向けた「社会・環境長期ビジョン2030」策定と2023年に向けたマテリアリティの見直しを実施し、2022年には政府のCO₂削減目標引上げを受け目標を再設定しました。

今回、外部環境変化が当社グループに与える影響と内部環境を整理し、財務インパクトにつながる6つのマテリアリティを特定しました。

■ マテリアリティ再特定プロセス

STEP1: テーマの抽出	STEP2: テーマの検証・施策・KPIの設定	STEP3: 経営層の議論と決定
<ul style="list-style-type: none"> アウトカムを具体化し、当社が取り組むべき課題を検討 「事業継続」と「資本強化」における重点課題の分類でマテリアリティにすることを決定 6つのマテリアリティを抽出 	<ul style="list-style-type: none"> 第三者機関とともにグローバルなマテリアリティテーマ(SDGs・SASBなどのテーマ)を参考に抽出したテーマの適切性を確認 当社グループにとってのリスクと機会の観点で施策、指標と目標を設定 	<ul style="list-style-type: none"> 経営層が参加するサステナブル委員会、役員ミーティング、社外役員ミーティングにて議論 マテリアリティの妥当性を検討し決定

■ 豊かな暮らしと地球への貢献を両立できる社会へ向けた取り組み



■ マテリアリティの取り組みと指標

重点課題	機会	主な取り組み	Vプラン26 指標とマイルストーン		2023年末	2030年ありたい姿	
			指標	2026年目標			
事業継続における重点課題	① つながりを起点とした顧客価値最大化	● サービス対応で安心・安全による顧客基盤を固め、保守・メンテナンス主体の新たなビジネスモデル・収益基盤を創出	● お客さまとの「つながり」強化	● 製品・サービスを通じたつながり数(累計)	600万件	457万件	● つながり数900万件
	② カーボンニュートラル/社会課題対応	● 製品・サービス提供を通じた新たな社会価値(カーボンニュートラル・お湯の価値・食の価値)の創出	● 温水・環境配慮型商品(高効率給湯器)と厨房・社会課題解決型商品のスタンダード化	● 環境配慮型商品の販売構成比	50%	40%	● 環境配慮型商品90%
			● 設備更新による施設のカーボンニュートラル貢献	● 社会課題解決型商品の販売構成比	37%	31%	● 社会課題解決型商品40%
● 熱ソリューションビジネスの確立			● 製品のCO ₂ 排出量(2018年比)	▲20%	▲25%	● 製品CO ₂ 2018年比▲30%	
資本強化における重点課題	③ カーボンニュートラル・資源循環促進による自然資本開発	● 自社・社会の環境負荷を減らすことで、持続可能なビジネスモデルを確立	● 既存国:環境配慮型商品の市場拡大	● 事業拡大によるCO ₂ 削減貢献量	33万t-CO ₂	27万t-CO ₂	40万t-CO ₂
			● 新規国:所有技術・商材の展開	● 事業拡大によるCO ₂ 削減貢献量	600万t-CO ₂	395万t-CO ₂	750万t-CO ₂
	④ 事業拡大に向けた知的資本開発	● 技術力による競争優位性の確保 ● 競合他社との差別化	● 社会課題解決型技術の創造と世界展開	● RE100達成	明石本社工場達成	—	● 事業CO ₂ 2018年比▲50%
			● 経営品質向上によるコーポレートブランド強化	● 製品リサイクル回収台数	15万台	7万台	● 製品リサイクル回収30万台
⑤ 事業を支える人的資本開発	● 多様な人材の能力発揮を促し、組織全体としての力を最大化 ● 個々の強みを活かしたイノベーションの促進	● 従業員ウェルビーイングの実現	● カーボンニュートラル・ウェルネス等の新技術獲得数	5件	—	● パテントor新ビジネスモデル5件	
		● ダイバーシティ&インクルージョン	● ブランド戦略サーベイ総合スコア	585	572	● ブランド戦略サーベイ総合スコア600	
⑥ DX等による製造資本開発	● DXによる製造効率の改善	● ものづくり変革(DX活用・ロボット導入・モジュール設計等)	● エンゲージメントサーベイ総合スコア	70	68	● エンゲージメントサーベイ総合スコア73	
			● 本社工場の自動化率	ガス給湯器ライン自動化率70%	—	● スマートファクトリーの実現	